

山口県建設技術センター

この情報誌は土木技術に関する様々な情報を山口県及び市町の土木技術職員の皆様方に提供するものです。

情報誌 Vol.51

発行：一般財団法人 山口県建設技術センター 発行日：平成26年7月14日



職務基礎研修 新任者【前期】課程
問田中継ポンプ場 No.2 ポンプ井築造工事



職務基礎研修 新任者【前期】課程 研修生

設計図書作成業務（平生新橋）
工事管理業務（錦川総合開発事業）
技術研修業務（新任者【前期】、工事検査実務）
コンクリート構造物の品質確保に関する支援
派遣研修を終えて 新任職員紹介



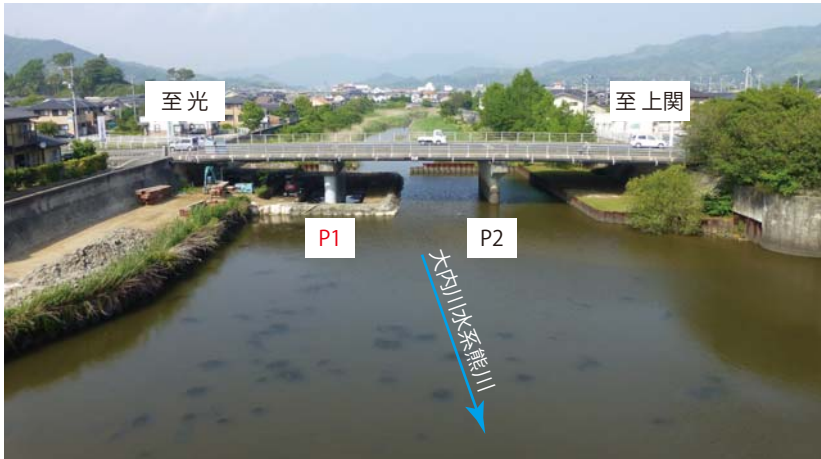
職務基礎研修 新任者【前期】課程
新山口駅ターミナルパーク整備事業

設計図書作成業務(平生新橋)

戦後から高度経済成長期に集中的に整備された橋梁やトンネルは、供用から50年が経過しようとしています。山口県では「山口県橋梁長寿命化修繕計画」を策定し、計画的な補修工事を実施しています。また、平成7年に発生した阪神淡路大震災を契機として橋梁の耐震基準が大幅に見直され、これより古い基準で設計・建設された橋梁は、順次耐震補強工事がなされています。こうした状況から、建設技術センターへの委託は橋梁補修や耐震補強に関するものが増加傾向にあります。

今回は建設技術センターで昨年度行った業務の中から、平生新橋の耐震補強についてご紹介します。

(資料提供：柳井土木建築事務所)



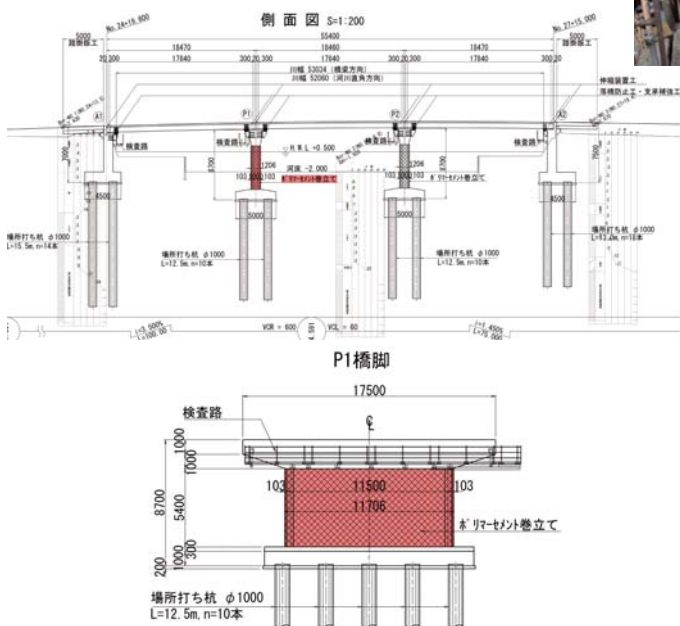
着工前



橋脚巻立て



P1 橋脚完了



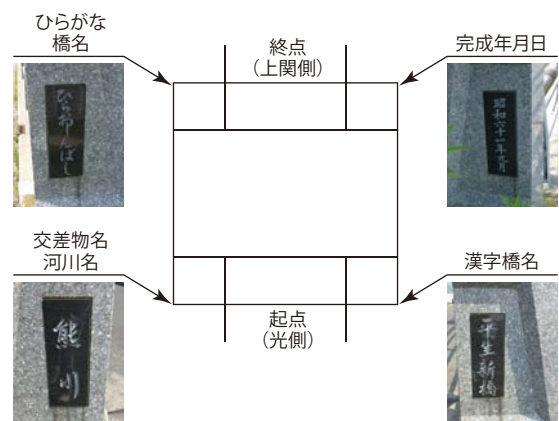
現況の橋梁を調査した結果、地震に対する耐力が不足していることが確認されました。経済性や施工性等、種々の条件比較により、ポリマーセメントモルタルによる橋脚巻立て工法が採用されました。

これから出水期を迎えるため、秋頃から引き続きP2橋脚の耐震補強に着手する予定です。

銘板の配置

橋梁の銘板の配置には一定のルールがあります。山口県土木工事共通仕様書(平成25年)によれば、以下のとおりとなります。

もちろん、平生新橋でもこのルールどおりに設置されています。



※山口県土木工事共通仕様書(平成25年)(P121参照)

技術研修業務(平成26年度は22課程の研修を予定)

建設技術センターでは、基礎的な内容や最新的话题を提供し、充実した研修となるよう努めています。自己研鑽はもちろん業務上の疑問などを確認する場としても、是非ご活用ください。

今年度開催する研修の中から、先日開催しました新任者[前期]課程の様子と、工事検査実務課程の概要についてご紹介します。

その1. 職務基礎研修 新任者[前期]課程(5/13~16)

今年度は新規採用職員が多かったこともあり、県27名(土木建築部:24名、他部局:3名)、市町32名の計59名で開催されました。かなりの大所帯でしたが、研修生の皆様のご協力により、無事に4日間の研修を修了いたしました。

3日目に開催した現場研修では、前日からの雨の影響が心配されましたが、何とか持ち直し好天に恵まれました。実際の現場を見ることで、研修生の理解がより深まったものと思われまます。ご説明頂きました各現場のご担当の皆様には、この場を借りてお礼申し上げます。

今回の研修で寄せられたアンケートのご意見を元に、今後の研修に生かしてまいります。

この4日間で身につけられたことを存分に発揮され、各所属でのご活躍を心からお祈りしております。



アンケートに寄せられたご意見

- ・今後の業務に大変役に立つ内容ばかりだった。
- ・ついていくのが精一杯だったので、家に帰って資料を読み返したい。
- ・演習時の講師のマンツーマンの説明は分かり易かった。
- ・机が狭くて演習の作業効率が悪かった。

その2. 実務能力研修 工事検査実務課程(11/19)(予定)

総合評価入札方式において、受注者は工事成績評定点の差で応札できない場合もあり、工事成績評定点への考え方は年々厳しくなっています。このため、発注者(個々の担当者)は、工事成績評定について一定水準の共通した考え方を持つ必要があります。

昨年度は、専門能力研修として県・市町の土木職で若手職員へ指導監督を行う職員を対象に、工事監督課程で工事成績評定についての研修を実施しました。本年度は若手職員(県・市町の土木職で経験が5年程度の職員等)を対象に、工事成績評定に特化した工事検査実務課程を行う予定にしています。工事成績評定の考え方を習得するためにも積極的なご参加をお願いします。

コンクリート構造物の品質確保に関する支援

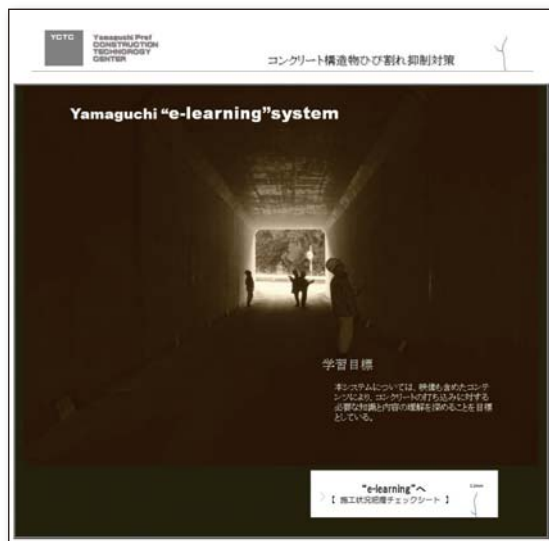
建設技術センターは、平成19年以降山口県が運用している「ひび割れ抑制システム」の取り組みを支援するため、「ひび割れ抑制システム」の普及・啓発や、「コンクリート施工記録(コンクリート打設管理記録)」の整理・登録、分析、公表等、様々な取り組みや支援を行っています。

設計段階、発注段階、施工段階での「材料によるひび割れ抑制対策」の検討に関することや、e-learning システムに関すること等の技術相談も受け付けていますので、お気軽にご相談下さい。

また、当センターのホームページでは、コンクリート施工記録データ等の様々な情報を提供していますので活用してください。

主な支援内容

1. ひび割れ抑制対策に関する技術相談
2. コンクリート施工記録のデータ整理登録、分析、公表
3. 施工管理のためのe-learningシステムの運用
4. コンクリート施工状況把握に関する現場研修支援
5. ひび割れ抑制システムの普及・啓発



平成26年3月更新

<http://www.yama-ctc.or.jp/data/index.html>

派遣研修を終えて — 光市役所入札監理課 山口 正人 —

私は光市から山口県建設技術センター(以下センター)へ派遣研修として、平成24・25年度の2年間程勤務させていただきました。

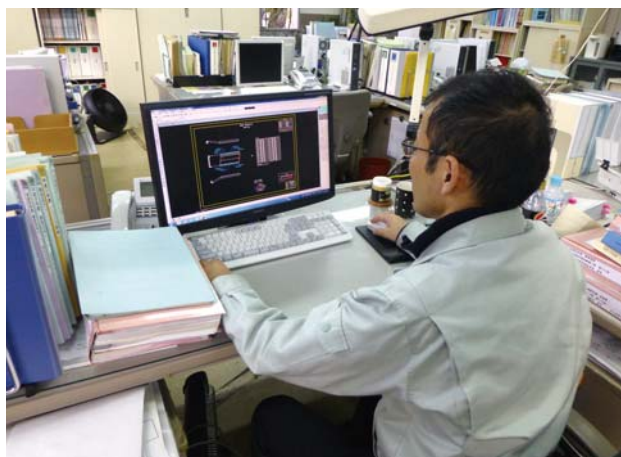
センターでの業務内容としましては、設計図書作成業務、調査設計監理業務、マニュアル作成業務等に携わらせていただきました。

市ではそれ程大きな事業に携わる機会が少ないため、いろいろとセンターで勉強させていただきながら、業務を進めていくことを考えておりました。しかしながら、予想以上に多種にわたって大きな事業が多く、当然ながら全てに精密さと敏速さが要求され、堅実な根拠資料とともに設計図書資料を納品することにとっても苦労しましたが、周りの方々の様々なご指導やご支援のおかげで、どうにか2年間を乗り越えることができました。この場をお借りして深くお礼を申し上げます。

このようにセンターでは設計図書の作成だけでなく調査設計監理業務においても、コンサルタントや各種関係機関との協議の進め方や接し方など、たいへん勉強となり、また、センター内での設計図書等のチェック体制や、疑問点などについても皆で話し合ったり、認識を共有し合う雰囲気作り等々において、センターの組織としてのすばらしさを感じながら仕事をしておりました。

こうしてセンターでの仕事を通じて、知り合えた方々との出会いに感謝し、今後もこのご縁を大切にさせていただきながら、この2年間で得られた経験を生かせるよう、これからも業務に励みたいと思います。

最後になりますが、自分はこの2年間の派遣研修で、自分という個の力はとても小さく、周りの方々のご指導や支えのおかげで成り立っていることを改めて実感しました。ご指導及びご支援を下されたセンターの皆様、依頼を受けてお仕事をさせていただいた県や市町の皆様、励ましてくれた光市の上司や仲間の皆様、そして2年間支え続けてくれた家族に心から感謝いたします。本当にありがとうございました。



(一財)山口県建設技術センターは20年目を迎えました

(一財)山口県建設技術センターは、平成7年4月1日に(財)山口県建設技術センターとして設立されてから、20年目を迎えました。

設立から20年目を迎えられたのも、山口県及び県下全市町のご協力あってこそのものであります。

当センターは建設技術者の資質の向上を図り、県及び市町が施行する建設事業の円滑で効率的な執行を支援し、良質な社会資本の構築に寄与することを目的としており、今後ともご意見ご要望にお応えしながら、皆様に有益な情報を提供できるよう努めてまいります。



新任職員紹介 ～よろしくお願ひします～

事務局長



河野 隆士

皆様のお役に立てる建設技術センターを目指して頑張っております。よろしくお願ひします。

工事管理部



岡村 孝宏 工事管理監

平瀬ダム建設工事及び関連工事の工事管理業務を担当します。「地域に愛される平瀬ダム」を目指し、これまでのダム技術経験を活かして皆様のお役に立てるよう努めますのでよろしくお願ひします。

技術部



福田 将之 技術課長

これまでの経験を活かし、皆様を抱える事業が円滑に進められるよう努めるとともに、気軽に相談できるセンターを目指し、頑張っていきます。よろしくお願ひします。

ヨロシク
お願ひします。



技術部



福田 啓介 主任

周南市からセンター技術課へ配属となりました。今まで経験したことのない大規模事業を学び、少しでも多くの技術を習得したいと思います。

技術部



三浦 直樹 主任

これまでの経験を生かし、皆様の業務が効率的に執行できるように頑張っていきたいと考えています。どうぞよろしくお願ひします。

技術部



林 謙一 主任技師

センターとして培われる技術力をいかに発揮し、皆様から相談されやすい雰囲気作りを目指して頑張りますので、よろしくお願ひいたします。

業務部



小澤 武範 主任

皆様のお役に立ち、かゆいところに手が届くような研修の開催に努めてまいります。よろしくお願ひします。

編集 後記

「無知の知」という言葉があります。自分は「無知」であることを知ることが重要である、と私は解しています。このたび、情報誌作成や新入者【前期】課程の準備・講師をする中で、基本的なことを知らない自分に気付かされました。おそらく一度は見聞きしたことがあるのですが、毎日が新たな発見です。基本的なことでも問い合わせてみたり、研修に参加頂いたりすることで、お互いに改めて気付かされることがあると思います。是非建設技術センターをご活用ください。きっと新たな発見があるはずですよ。

【Eメールアドレス】 info@yama-ctc.or.jp
【ホームページアドレス】 http://www.yama-ctc.or.jp

〒753-0073 山口市春日町8-3春日山庁舎
一般財団法人 山口県建設技術センター
情報誌編集委員会 宛

【TEL】 083-920-1233 【FAX】 083-920-1288